

令和6年度

東明小だより

令和6年6月24日
第4号



子どもたちの夢を応援しよう



校長 吉田 尚子

2023年の小学生なりたい職業ベスト3は、男子が、1位 会社員、2位 ユーチューバー、3位がサッカー選手です。また女子は、1位 パティシエ、2位漫画家・イラストレーター、3位 会社員という結果です。(第一生命のアンケートより)これを10年前と比較してみると、男子は、1位 野球選手、2位 警察官、3位 おもちゃ屋さん、女子は、1位 保育士・幼稚園の先生、2位 お菓子屋さん、3位 学校の先生 という結果でした。

この10年の間に、内容は大きく変わっています。以前は、目に見える職業が多かったのに比べて、可視化されない職業もランキング入りしています。これは、子どもたちの視野が広くなり、多くの職業に目が向いている結果です。また、以前は男子のランキングに多かった医者は、近年は男女ともにランクインし、性別に左右されない社会の流れが反映されています。

先日、本校では昨年度に引き続きキャリア教育の一環として、フラワーアレンジメント講師や畳職人、大工さんなど、一流の技能士さん方を招いて「未来の技能者育成事業」を行いました。

授業の内容は、高学年の児童が自分で体験したい職業を1つ選び、体験活動を行います。ただ単に仕事を体験するだけでなく、職業講話も組み込まれているので、職業観や勤労観の育成も同時に行うことができます。

プロの方々の仕事ぶりを近くで見ることができ、参加した高学年の子どもたちは、「どの仕事もすごい。」「1つの仕事ができるようになるためには、大変な努力が必要なんだ。」と各仕事のすばらしさを肌で感じることができ、とても貴重な体験でした。

一方、先日行われた2年生の町探検では久々利の派出所の方のお話を、3年生のバロー見学ではバローの方のお話を聞かせていただきました。この他にも、消防署や警察署、農業従事者や自動車学校、栄養士、図書館、歯科衛生士、食品会社、自動車工場、農協・・・実にいろいろな職業の方々と、6年間を通じて子どもたちが接する体験を本校では大切にしています。

なりたい自分を目指せる世の中をつくるのは大人の責任です。学校では、できるだけ多くの職業を子どもたちに触れさせると同時に、一人一人の子どもたちが描く夢に、「すごいね。」「きっと実現するよ。」というメッセージもしっかりと伝え、子どもたちの夢を応援していきたいと思えます。

